





























眼鏡碑の建設について

外界のあらゆる事物の形象色彩を明らかに正しく見るのは眼の働きである。この眼の働きを補い助けるものに眼鏡がある。近視鏡、老眼鏡から遠方のものを見る望遠鏡、微小なものを見る顕微鏡、天体を観測する天体望遠鏡などいろいろあるが、何れも眞実の姿を認める上に欠くことの出来ないものである。

この眼鏡碑が事代主神を斎い祭る長田神社の境内に建設せられたのは誠にその場所を得たものと思われる。

於天事代於虚事代玉籤入彦巖之事代主神と御尊称申し上げる長田大神は、その優れた御霊徳を以つて、天上の事も、国土の事も、顕在の世の事も、幽冥界の事も、悉く見つくし知りつくして居られるので、萬民の状態を知りて各々その処を得しめ給う。天皇の厚き御崇敬を御受けになり、常に政治の眼となつて神徳を御発揚になつてゐるのである。

吾々は最新精巧なる眼鏡によつて肉眼の欠点を補い、長田大神の御加護に依つて心眼を得て、「わが眼鏡に曇りはないし」「わが眼鏡に間違ひはないし」と言い得るような境地に達したいものだと思ふのである。

長田神社

長田神社境内配置図



提言

清く明るい感謝の日を過ごすために、
おついでに諸君の心を結ぶように、
おついでに諸君の心を結ぶように、
おついでに諸君の心を結ぶように。

長田神社では、氏子崇敬者の方々に日供講員として御入会いただき、毎日お日供（朝夕の御神饌）を奉納し、大神様の御神慮を大層の申し上げ、高き御神徳の御加護を祈念すると共に講員相互の親睦を計る会であります。
講員には「講員証」を、講員の誕生日にはお日供をお供えし、夫々神符（おまもり）並びに御下神饌（おまがり）を授けたいとします。
右の趣旨に御賛同いただき、何卒御入会下さいますようお願い申し上げます。

長田神社「にこにこ会」について

個人講員	年額	二,〇〇〇円
家族講員（三人まで）	年額	一〇,〇〇〇円
特別講員	年額	一〇,〇〇〇円
法人講員（一口）	年額	一〇,〇〇〇円

尚、入会申し込みは社務所において受け付けております。



長田神社

元宮 中社 延喜式名神大社

御祭神 事代主神

神功皇后撰歌元年 西暦二〇一年
御神慮を受け此の長田の里にお祀り
されたと伝ふる我國有数の名社で
す(日本書紀記載)
事代主神は古來皇室守護国土
統一の神として宮中八神殿にお祭り
され神話では因縁りの神として広く
語り継がれます
御神名の「事代」は全ての事柄を知り
司りあらゆる業を教える神とされる
事を願ひ開運招福心想事成商
工業の守護神・福の神として篤く
信仰されています
毎月晦日は長田さんのおつた
ちまいりと御神徳を仰ぎ商売
繁盛家内安全厄除解除無事
息災の神恩感謝を捧げる参拝で
賑わいます 御分の逆儀式(お返し)は
七匹の鬼が長田大神の化身となり
松明の束と太刀で天地四方国土の
隅々人々の陰災消滅と平安を願ふ奉
仕するお供いのか特殊神事として有ります

長田神社
恵出殿軒

長田神社

元官幣中社延喜式名神大社

御祭神 事代主神

神功皇后撰政元年（西暦二〇一年）
御神意を受け此の長田の里にお祀り
されたと伝える我国有数の名社で
す（日本書紀記載）

事代主神は古来皇室守護国土
統一の神として宮中八神殿にお祭り
され神話では国譲りの神とて広く
語り継がれます

御神名の「事代」は全ての事柄を知り
司りあらゆる業を教え導かれる
事を顕し開運招福心願成就商
工業の守護神・福の神として篤く
信仰されています

毎月朔日は「長田さん」の「おついた
ちまいり」と御神徳を仰ぎ商売
繁盛家内安全厄除解除無事
息災の神恩感謝を捧げる参拝で
賑わいます 節分の追儺式（県指定重要無形文化財）は
七匹の鬼が長田大神の化身となり
松明の炎と太刀で天地四方国土の
隅々人々の除災消滅と平安を願って奉
仕するお祓いか特殊神事として有名です

